

夏の美ら海安全キャンペーンについて ～ スノーケリング事故の防止 ～

第十一管区海上保安本部
交通安全対策課

夏の美ら海安全キャンペーン

期 間：令和8年7月1日（水）～ 10月31日（土） 4か月間

内 容：沖縄県内において、マリンレジャーを楽しむ方が増加する時期になるため、安心・安全に海を楽しんでもらえるよう、安全啓発活動を重点的に展開

フライト中



機内
安全啓発動画

空港到着



那覇空港
安全啓発活動

移動中



高速道路のSA・PA
共通ポスター



国道58号線沿い
安全啓発活動

滞在中



国際通りなど
デジタルサイネージ

活動中



海浜等
安全啓発活動



機内
機内誌の啓発コラム



下地島空港
安全啓発動画



タクシーの車内
安全啓発動画



県内商業施設・宿泊施設など
共通ポスター



配布
共通リーフレットなど

情報発信



SNSの活用



本部長定例会見



潮流体験会

官民連携



ラジオ出演

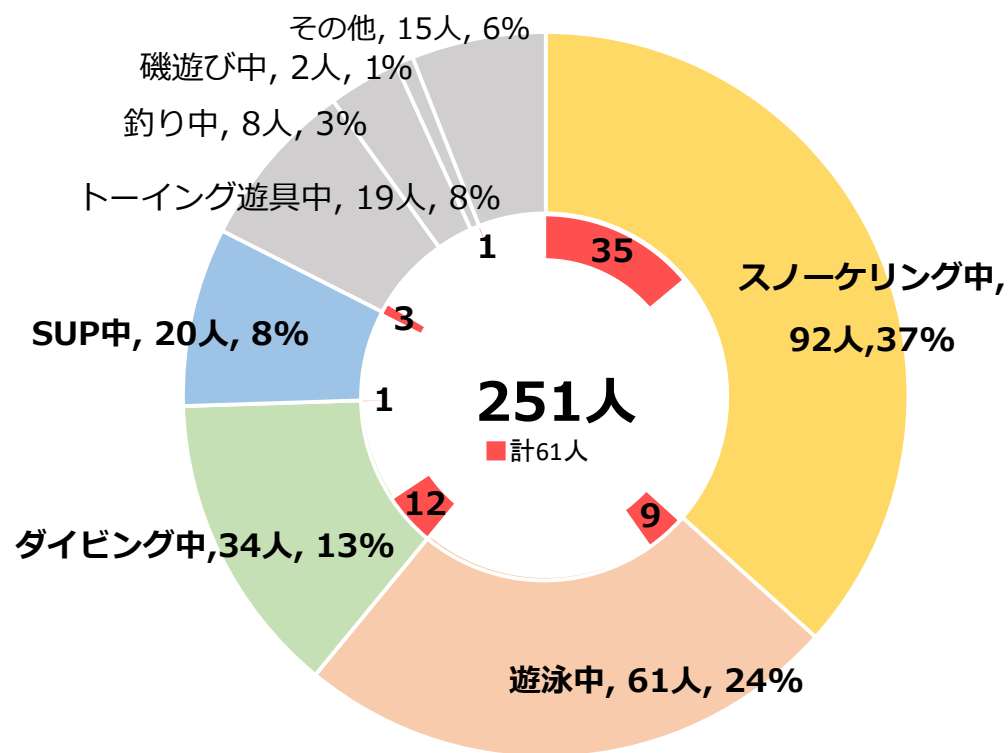


関係者打合せ

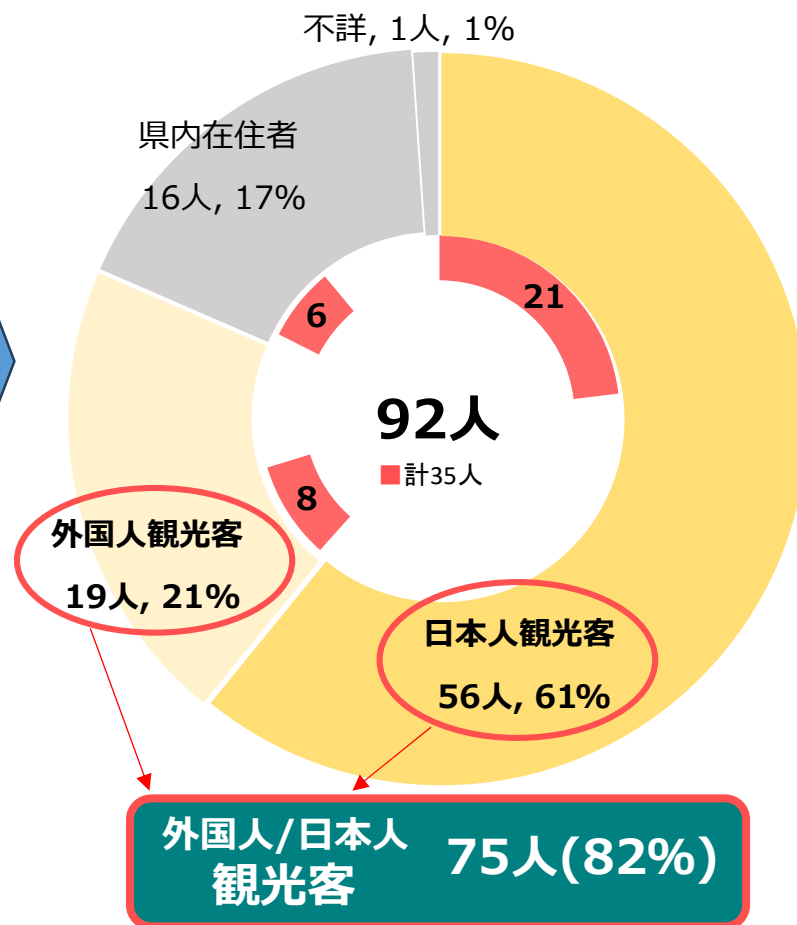
- ・ 活動内容別に見ると、スノーケリング中、遊泳中、ダイビング中、SUP中の順が多い。
- ・ 死者・行方不明者は、スノーケリング中、ダイビング中、遊泳中の順が多い。
- ・ スノーケリング中の事故者の8割以上が、観光客。

活動内容別（R3～R7）

■ 死者・行方不明者

スノーケリング中の事故者
居住地別（R3～R7）

■ 死者・行方不明者

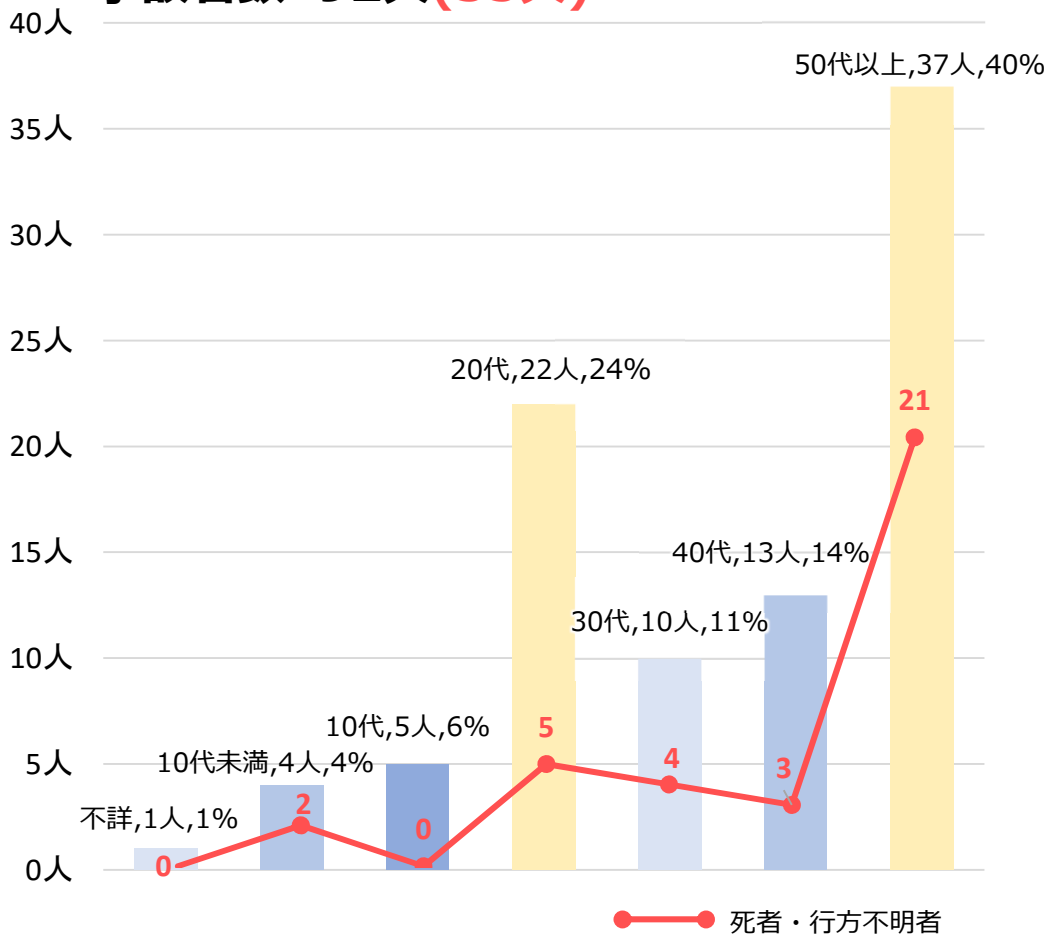


スノーケリング中の事故の特徴：7/1～10/31（過去5年）

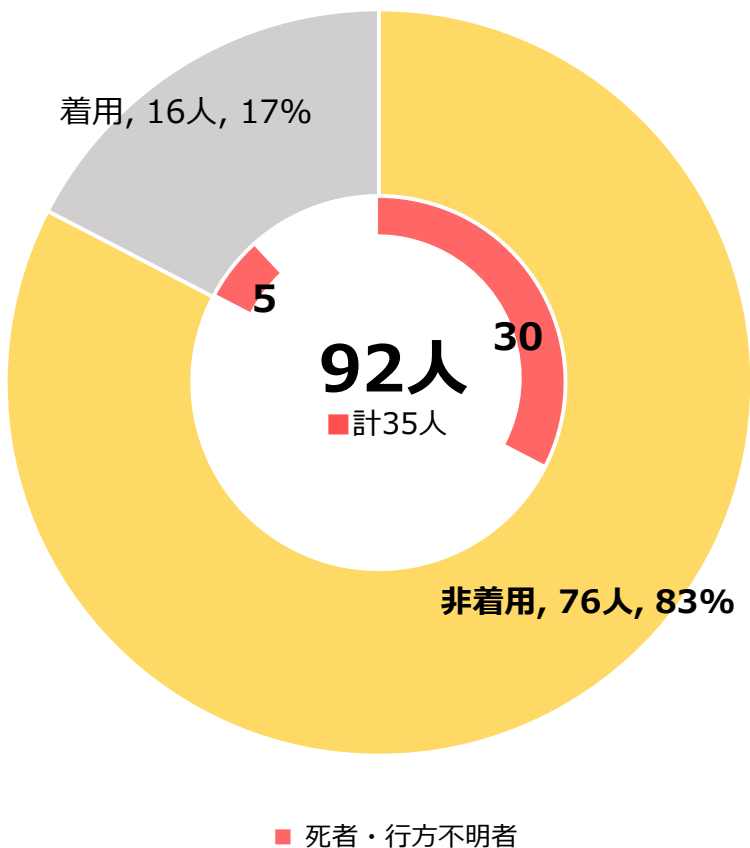
- ・ 年齢層別に見ると、50代以上と20代の事故が多く、死者・行方不明者は50代以上に多い。
- ・ ライフジャケット非着用者による事故が8割を占め、死者・行方不明者も8割以上と多い。

スノーケリング中の事故者
年齢層別（R3～R7）

事故者数 92人(35人)

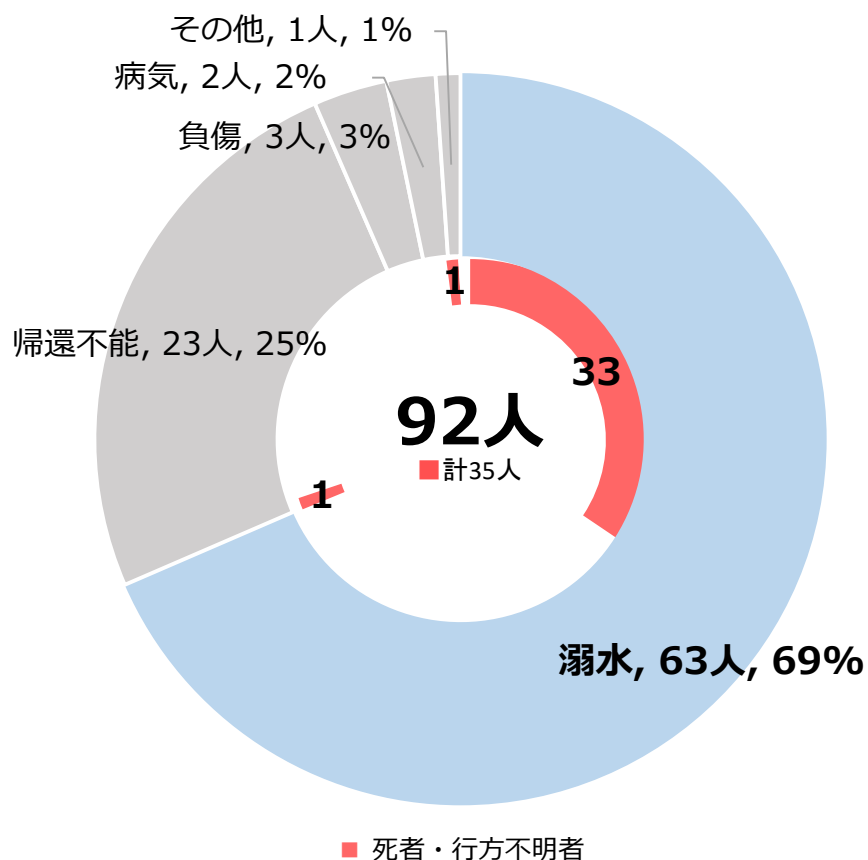


スノーケリング中の事故者
ライフジャケット着用状況（R3～R7）



- ・ 事故内容別に見ると、溺水が7割を占める。
- ・ 死者・行方不明者は、溺水が9割以上を占める。

スノーケリング中の事故者
事故内容別（R3～R7）



資器材に起因する溺水のフロー

〔要因〕

資器材の不良
資器材の取扱い不慣れ

〔過程〕



〔結果〕

溺水



場 所：わいわいビーチ
業 者：利用無し
事 故 者：60代 男性 日本人観光客

- ・ 事故者は、保管していたスノーケルを補修※のうえ、持参
- ・ 娘と2人でスノーケリングを開始(ライフジャケット非着用)
- ・ 補修した部分から海水が浸入
- ・ 排水を複数回行うも、上手くできずパニックになり、海水を誤飲
- ・ 家族、友人らと陸上まで搬送(意識なし)
- ・ 救護処置により意識が回復、病院へ搬送

※ 接合部分をビニールテープ等で補修

事故防止のポイント

❗ 不良な資器材を使用しない



場 所：新城海岸
業 者：利用無し
事 故 者：30代 男性 日本人観光客

- ・ 友人と2人でスノーケリングを開始(ライフジャケット非着用)
- ・ 吸気のタイミングで不意に波をかぶり、スノーケルに海水が浸入
- ・ 排水が上手くできず、パニックになり、海水を誤飲
- ・ 付近にいた人が、事故者を陸上まで搬送
- ・ 救護処置後、病院へ搬送

事故防止のポイント

❗ 資器材の取扱い技術を身につける

那覇空港での安全啓発のお知らせ

日時： 令和8年7月24日（金）午後1時30分～午後3時頃
場所： 那覇空港国内線・国際線到着ロビー
内容： 夏季期間中は、観光客の往来が一層増加するため、包括連携協定締結機関と協働し、「空の玄関口」である那覇空港で安全を呼びかけます。

国内線到着ロビー ウェルカムボード



パッケージクレームサイン



機内誌



手荷物受取所での安全啓発動画



※出典:ca-style.biz